

「美術科」の学習

1. 教科の目標

- ・楽しく、主体的に美術活動に取り組み、美術を味わう心情を深める。
- ・想像力を高め、豊かな発想をし、自分の表現方法を創意工夫する力を伸ばす。
- ・美術文化に対する関心を高め、よさや美しさを発見し、味わう鑑賞能力を育てる。

2. 観点別評価項目と主な評価内容

	観 点	主な評価観点
①	知識および技能	作品・クロッキー帳・単元テスト
②	思考力、判断力、表現力等	アイデアスケッチ・作品・クロッキー帳
③	主体的に学習に取り組む態度	授業態度・作品鑑賞

3. 観点別の具体的な心構えや学習方法（①～③は、上記の観点です）

	心構えや学習方法
①	☆用具の使い方や画材・素材の特徴を理解し、より完成度の高い作品を丁寧に制作することができる。 ☆形や色彩などの表し方を知識として理解し、表現方法を工夫して制作することができる。
②	☆自分が表現したいことやテーマを、感性を働かせ、豊かな発想で工夫し、心豊かな表現の構想を練ることができる。 ☆道具や素材の特徴をつかみ、構図や組み立てから全体を考えた発想ができる。 ☆人にはない自分だけの新しい表現を試みようとする。
③	☆授業に必要な準備、後片付けがしっかりできる。 ☆提出物や作品を、期限内に完成させて出すことができる。 ☆真剣に授業に取り組み、よりよい作品がつかれるように努力・工夫する。 ☆自分の作品をふり返ったり、他の生徒作品を鑑賞したりし、よさを味わうことができる ☆鑑賞からあじわったことや認め合うことが、言葉として伝え合うことができる。 ☆美術文化や作品に触れ、鑑賞し、自分なりの意見を発表しあうことができる。 ☆制作計画を立て、時間配分をしながら作品を完成することができる。

4. 家庭学習のあり方

- ・授業で必要な準備物を忘れないようにしよう。
- ・制作計画がスムーズに進むように、アイデアを練ったり資料を集めたり、実際に練習したりしておこう。
- ・課題には自分の力でじっくり取り組み、返却後は大切に持ち帰ろう。
- ・日頃からものをじっくり観察する習慣をつけて、日常生活や自然界の中に見られる「美しい形」や「美しい色」を発見し、そのよさや魅力をあじわい感動する心をもとう。

5. 年間指導計画

	1年 (45時間)	2年 (35時間)	3年 (35時間)
前期	<p>オリエンテーション</p> <p>【絵画】 「スケッチ・手」 鉛筆の使い方 「グラデーション」 「立方体の陰影を 鉛筆で表現する」</p> <p>【デザイン】 アクリル絵の具の 使い方 「レタリングの基礎」</p> <p>【絵画】 「一点透視図法・遠近法を 学ぶ」</p>	<p>オリエンテーション</p> <p>【立体造形】 「仮面」 「作品鑑賞」</p> <p>【絵画】 「透視図法・遠近法の 復習」</p> <p>【デザイン】 「レタリング、色の整理 の復習」</p>	<p>オリエンテーション</p> <p>【デザイン】 「ボトルラベル デザイン」 「作品鑑賞」</p>
後期	<p>【デザイン】 「絵文字」 「作品鑑賞」</p> <p>【立体造形】 「ランプシェード」 「作品鑑賞」</p>	<p>【デザイン】 「ロゴマーク」 「作品鑑賞」</p> <p>【絵画】 「デッサン 体育館シューズ」</p>	<p>【絵画】 「静物画」</p> <p>【鑑賞】</p> <p>【立体造形】 「プッシュアート」 「作品鑑賞」</p>